

# まちづくりITSの取り組み方 ~ITS 導入の手順~

## ステップ 1 ITS に関する勉強会等の開催

○まず最初に、「ITS とは何か」、「まちづくりにITS をどのように活用できるのか」について理解していただくことが大切です。  
 ※愛知県ITS推進協議会では、ITSに関する市町村担当者の理解を深めていただくため、「ITS出前講座」を開催しています。

## ステップ 2 市町村の地域課題を踏まえたITSの可能性検討

○既往のまちづくり計画のなかでITSが、どのように活用できるかを検討します。  
 ○他地区での事例も参考にしながら、まちづくりに活用できそうなITSを選定します。  
 ○さらに、ITS導入に関する関係省庁の補助制度について調べておきます。

## ステップ 3 事業化計画の検討

○具体的なサービス内容やシステム構成について詳細な検討を行います。  
 ○事業化にあたりNPO等との連携体制が構築できないか、また補助制度の活用等によるコスト削減ができないか、構造改革特別区域(特区)などの活用ができないか等の事業手法について検討します。  
 ○事業スケジュールや予算化を検討します。

## ステップ 4 社会実験の実施

○事業化に先立ち、まずは社会実験等を行うことをお勧めします。実験の実施にあたっては、関係省庁の社会実験費用の補助制度を活用することが有効です。  
 ○実験では、サービス内容やシステムに関する市民の皆さんのご意見をいただきます。これを踏まえ、サービスやシステムの改良を行います。  
 ○また、実験を通じて、ITSに関する市民の皆さんの意識の醸成を図ります。

## ステップ 5 事業の実施

○社会実験の成果を踏まえ、本格運用を行います。

## ステップ 6 PDCAによる事業の見直し

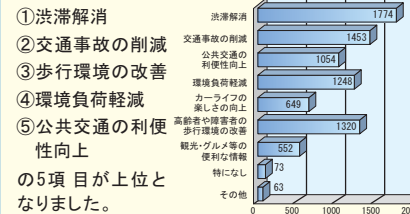
○事業実施後も定期的に事業評価を行うことで、サービス内容やシステム改良を行います。  
 ○これを踏まえ、導入地区の拡大に関する検討もあわせて行います。

※P D C A : Plan (計画)→Do (実行)→Check (見直し)→Action (本格運用)といった一連の施策の流れを示します。

## コラム 1 愛知県民が求めるITSに関するニーズ

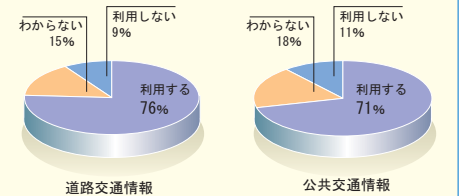
愛知県ITS推進協議会では、ITSに関する県民のニーズを把握するため、平成13年12月に県民1万人を対象としたアンケート調査を実施しました。(有効回答数約2,500人)

### ITSに期待することは?



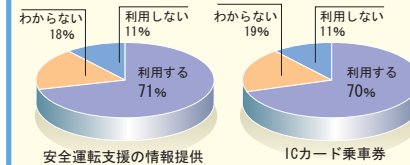
### 交通情報は一番人気!

県民のニーズが最も高かったのは、道路交通情報や公共交通情報等の交通情報に関するものでした。



### 安全運転支援や公共交通系ICカードも人気!

見通しの悪いカーブでの運転支援情報の提供やJR東日本のSuicaのようなICカードも人気がありました。

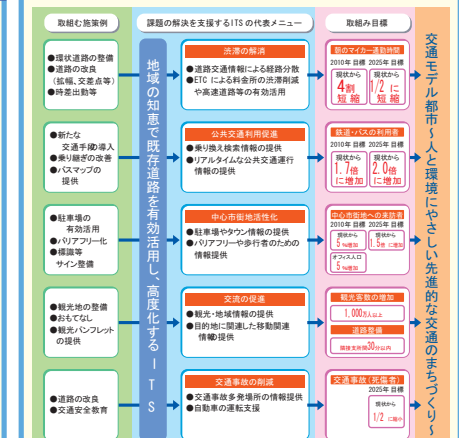


## コラム 2 戦略的なITS整備の取組

豊田市では、まちづくり計画と連動した戦略的な取組により、数多くのITSを効率的に整備しています。

豊田市の取組のポイントは、渋滞対策や公共交通支援、歩行環境の改善など、まちづくりの課題とその対策を明確にしたうえで、各対策を支援するITSを提案していることです。

### 豊田市による「ITSとまちづくりの連携」



## コラム 3 社会実験が現実となったITS

高知県中村市では、平成12年4月10日から6月30日の間、電話やインターネットで予約すると10~15分でバスが到着するデマンドバスを8時から18時まで運行する実験を行いました。この実験により利用者数が増加したことから、同年7月1日から営業時間を7時から19時までに延長した本格運行となりました。

